

ヒラメの産卵期と着底期の変動

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産総合研究センター 公開日: 2024-11-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 栗田, 豊 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2012376

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



ヒラメの産卵期と着底期の変動

海区水産業研究部

協力機関：福島県水産試験場

研究の背景・目的

1. 翌年、翌々年のヒラメの漁獲量に影響すると考えられる、ヒラメの着底数が決定する仕組みを明らかにする
2. 過去のデータからヒラメの着底数が非常に多い年は、8月の水温が高い傾向がある
3. 仙台湾付近の産卵期と着底時期の年変動を明らかにする

研究成果

1. 着底時期には年変動が認められ、2001年は6,7月、2002年は7,8月、2003年は9月、2004年は7,8月が着底期であった
2. 2004年の産卵期は昨年と同様、5～8月（盛期は6,7月）であった
3. 2004年に着底したヒラメは6,7月に生まれた魚であると推定された

今後の研究の展開

1. 産卵と着底のデータを蓄積することで、着底数が決定する仕組みを明らかにする
2. 耳石を解析して浮遊期の魚および着底した魚の産まれた日を調べる
3. この結果を産卵数の産卵期中の変化の様子と比較して、生まれてから着底するまでの生残の仕組みを調べる

